

第33回 スクリーンコンサート 2024. 4月

今月のテーマ 指揮者 世界の小澤征爾

1959年、ブザンソン指揮者コンクールで第1位を獲得。当時ボストン響の音楽監督であり、このコンクールの審査員であったシャルル・ミュンシュに翌夏タングルウッド音楽祭に招かれた。

その後、カラヤン、バーンスタインに師事、ニューヨーク・フィル副指揮者、シカゴ響ラヴィニア・フェスティバル音楽監督、トロント響音楽監督、サンフランシスコ響音楽監督を経て1973年にボストン交響楽団の第13代音楽監督に就任、アメリカのオーケストラ史上でも異例の29年という長期にわたって務めた。



2002年1月、東洋人として日本人指揮者が初めてウィーン・フィルニューイヤーコンサートを指揮した。同年ウィーン国立歌劇場の音楽監督に就任、2002～2010年春まで務めた。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団名誉団員、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団名誉団員、ボストン交響楽団桂冠音楽監督、セイジ・オザワ 松本フェスティバル総監督、水戸交響楽団音楽監督、小澤征爾音楽塾塾長・音楽監督、新日本フィルハーモニー交響楽団桂冠名誉指揮者。

1984年発足したサイトウ・キネン・オーケストラは、1992年から芸術的念願であった国際的音楽祭“サイトウ・キネン・フェスティバル松本”へと発展させた。

演奏リスト

- 1、終わりのない実験 ドキュメント 70分
- 2、バッハ：G線上のアリア 5分
こんなにも優しく美しいアリアを演奏 阪神淡路大震災への追悼演奏
- 3、バッハ：シャコンヌ 19分
斎藤秀雄から徹底的に指揮の指導を受けたマエストロ・オザワの原点「音を引き出すパワー」を感じる2004年サイトウキネン
- 4、チャイコフスキー：弦楽セレナーデ 33分
ソナチネ、ワルツ、エレジー、ロシアの主題によるフィナーレの4楽章から構成される弦楽オーケストラのための楽曲。1992サイトウキネンから魂が震える演奏を。